

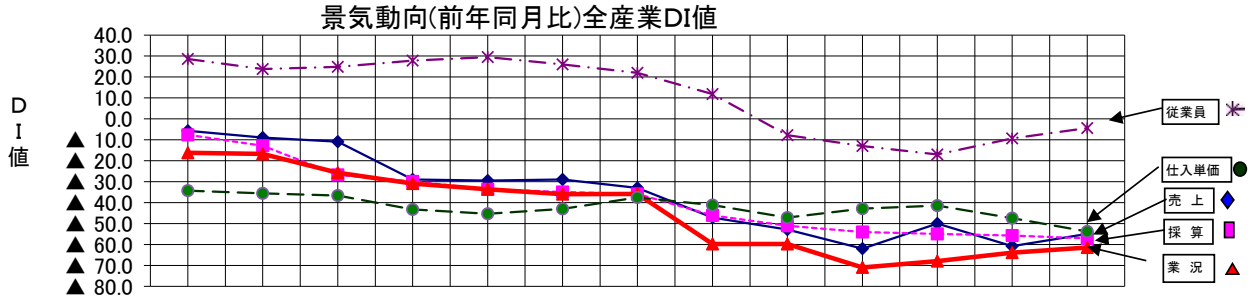
# 早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 8月分

## 【8月の概要】

**売上、業況で若干上向くも低水準のまま推移、  
新型コロナウイルスの影響長期化で、先行きの見通しは低水準のまま**

売上DIは5.8ポイント改善。業況DIについては3ヵ月連続で持ち直しており、従業員DIも改善傾向が見られる。一方、採算DIは悪化傾向が継続している。先行き見通しについては、売上が2.5ポイント改善したほかは、前月比では小幅な動きであり引き続き厳しさが伺える。

新型コロナウイルスの影響が長引き、会社の存続を危惧する声も聞かれる。また、国民の消費行動自体の変化を指摘する声もあった。一方で、人材確保のチャンスとの見方も多い。コロナ禍の長期化を見通した経営が求められる。



## 【全産業平均DI】 ※DI(景況判断指数)=(良い割合)-(悪い割合)

	2019年8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	2020年8月
売上	▲ 5.7	▲ 8.9	▲ 10.9	▲ 28.9	▲ 29.5	▲ 29.0	▲ 33.0	▲ 47.1	▲ 52.9	▲ 62.0	▲ 50.0	▲ 60.8	▲ 55.0
採算	▲ 7.6	▲ 12.9	▲ 26.7	▲ 29.9	▲ 33.7	▲ 35.0	▲ 35.8	▲ 46.1	▲ 51.0	▲ 54.0	▲ 55.0	▲ 55.7	▲ 57.1
業況	▲ 16.2	▲ 16.8	▲ 25.7	▲ 30.9	▲ 33.7	▲ 36.0	▲ 35.8	▲ 59.8	▲ 59.8	▲ 71.0	▲ 68.0	▲ 63.9	▲ 61.5
仕入単価	▲ 34.3	▲ 35.6	▲ 36.6	▲ 43.3	▲ 45.3	▲ 43.0	▲ 37.6	▲ 41.2	▲ 47.1	▲ 42.9	▲ 41.5	▲ 47.4	▲ 53.8
従業員	28.6	23.8	24.8	27.8	29.5	26.0	22.0	11.8	7.8	13.0	17.0	9.3	4.4

- ・ マイナス幅が減少したDI値：売上5.8ポイント、業況2.4ポイント、従業員4.9ポイント
- ・ マイナス幅が増加したDI値：採算1.4ポイント、仕入単価6.4ポイント

## 全産業平均DI - 向こう3か月間の先行き見通し

	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
6月	▲ 40.0	▲ 45.0	▲ 51.0	▲ 9.0	▲ 10.0
7月	▲ 45.4	▲ 49.5	▲ 48.5	▲ 6.2	▲ 14.4
8月	▲ 42.9	▲ 48.4	▲ 49.5	▲ 7.7	▲ 14.3

- ・ 見通しが改善したDI値：売上2.5ポイント、採算1.1ポイント、従業員0.1ポイント
- ・ 見通しが悪化したDI値：業況1.0ポイント、仕入単価1.5ポイント

## 【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	電機工事	工事が中止や延期になり、業績が悪化している。今後も厳しい状況が続く予想。
	設計施工	リフォーム修理等の小工事（個人住宅）を行う職人の求人についてはチャンスである。
製造業	鋼材	新型ウイルスの影響で求人倍率が低下している中、人材募集に力を入れている。
	板金	新型ウイルスの影響は確実に広がってきている。酒タンク・食品タンクの受注量の減少が深刻。
卸売業	工芸品	国民一人ひとりの思考の違いが出てきている。消費行動も変わってきた。
	青果	外食需要の下降傾向が懸念される。一部に長雨日照不足により農作物の出荷量減少や品質低下が見られる。
小売業	生花	ブライダルイベントのキャンセルが続き手の打ちようがない。
サービス業	コンピュータソフト	商談も止まっており、人の移動がままならない。会社自体の存続が危ぶまれる。
	システム開発	テレワークを急速導入したが混乱が生じた。オンラインでの求人面接も実施してみたものの難しい部分もある。
	タクシー	人の動きが皆無に近い状態。ウイルスの絶滅と会社消滅のどちらが早いのか、考える時が来ているように思える。